

2022年12月27日

2022年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 クローバーロード
代表者・役職名 氏名 理事長 富増 献兒

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

生活環境を整備するための事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

社会で生きづらさを抱えている若者に安心・安全な居住空間の提供と、社会的な自立のために必要な経験や知識の習得など寄与できることはと思い創設に至りました。開設して一年、現在6名の児童がそれぞれの課題に向き合い一緒に生活をしています。また、自治会活動や各機関が集まる研修や取り組みへの積極的な参加により、少しずつ地域や各関係機関等にも認知されるようになってきたところだと感じています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

・防犯カメラの設置については、不審者から守ることは勿論、地域コミュニティの場としてホームを活用してもらえたと想えており、子どもたち以外の方が訪れる機会も増えると思います。ホームを利用する方々にとって安心・安全な場所として活用して頂くために、防犯カメラの設置を考えました。
・パソコン購入については、経済的理由で児童が本来持っている力を発揮できないことや、色々な選択ができなくなるような不利益を受けないようにしたいと考えます。多くの情報を入手することで、視野を大きく広げることができ、自立への近道になるのではないかと考えます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

・正面玄関と裏口に防犯カメラを設置します。スマートフォンからの遠隔操作ができる機能を有している物を選び、ホーム外からでも様子を確認できるようにします。
・子どもたちが、落ち着いて自由に使えるようノートパソコンを準備します。2~3人に対し1台のパソコンを購入し、自分の居室で利用できるようにします。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

・防犯カメラを設置したことについては、日中は勿論のことながら夜間にはセンサーでライトが点くこともあります、防犯対策にとても有効的だと感じています。

・パソコンを活用できることについては、学校に提出する課題作成に利用する児童や、仕事で企画書を作成したいと利用する児童、将来パソコンが少しでも使えるようにとタイピングをする児童もおります。それぞれが今必要なことや将来を見据えて有意義に活用することがています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

・現状としては当初に挙げていた獲得目標は達成できたと思っております。子どもたちが自分で考え、チャレンジすることのできるような企画を実施し、今後も子どもたちのより良い生活を目指していきたいと思います。

この様な助成事業を実施して頂いていることに心より感謝致しております。

7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

